

講師

ジャパン・ストリング・クワルテット

1994年4月、ヴァイオリンの久保陽子と久合田緑、ヴィオラの菅沼準二、チェロの岩崎洸の4人は国際交流基金による日本文化紹介派遣事業の一環としてフランスと中近東を巡演、「クボ・クワルテット」として各地で好評を博した。この成果をもとに翌95年、「ジャパン・ストリング・クワルテット」を結成。創立時からベートーヴェンの弦楽四重奏曲の全曲演奏を目的に掲げて研鑽を積み、95年から3年間、計6回にわたり東京・津田ホールで定期公演を行った。演奏の様子がNHKで放映されるなど、多くの室内楽ファンの注目を集めた。そして2000年、彼らはベートーヴェンの魅力の新しい発見を目指し、再び弦楽四重奏曲全曲演奏に挑み始めた。この活動を軸に、異なる作曲家の弦楽四重奏の名作にも取り組み、幅広い聴衆獲得にも努めている。



久保 陽子 Yoko Kubo (第1ヴァイオリン)

3歳でヴァイオリンを始める。桐朋学園女子高等学校音楽科在学中に、ジャンヌ・イスナール、斎藤秀雄に師事。1962年チャイコフスキー国際コンクール第3位、パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクール、ロン・ティボー国際コンクールで第2位にそれぞれ入賞後、スイスで巨匠ヨーゼフ・シゲティに師事。クルチ国際コンクール第1位。弘中孝と共に桐五重奏団を結成し、1974年民音室内楽コンクール入賞、斎藤秀雄賞受賞。現在は、無伴奏作品のリサイタルをはじめとするソロ活動、室内楽活動に力を注いでいる。

久合田 緑 Midori Kugota (第2ヴァイオリン)

東京藝術大学在学中の1968年にJ・D・ロックフェラー3世財団などのスカラシップを得て渡米。ジュリアード音楽院、インディアナ大学に学ぶ。東儀祐二、鷺見三郎、服部豊子、イヴァン・ガラミアン、ジョセフ・ギンゴールド、フランコ・グッリ、アイザック・スターンに師事。1976年より日本での演奏活動を始め、日本テレマンアンサンブルのソリストとして活動した後、「久合田緑弦楽四重奏団」を1994年まで主宰。現在、大阪音楽大学教授、華頂女子高校音楽科芸術顧問・講師、京都市立芸術大学名誉教授。

菅沼 準二 Junji Suganuma (ヴィオラ)

ヴァイオリンを岩崎洋三、ヴィオラを井上武雄に師事。東京藝術大学専攻科修了。巖本眞理弦楽四重奏団に長く在籍、ヴィオラ奏者としての力量を認められる。第7回毎日芸術賞、芸術祭賞、レコードアカデミー賞、第22回芸術選奨文部大臣賞、モービル音楽賞、その他受賞多数。1976年から90年までNHK交響楽団首席ヴァイオリン奏者を務める。1989年第9回有馬賞受賞。現在、東京藝術大学名誉教授。オホーツク音楽祭 in 紋別のディレクター。NHK交響楽団客演首席奏者。

岩崎 洸 Ko Iwasaki (チェロ)

11歳より斎藤秀雄に師事。桐朋学園高校を経て、アメリカのジュリアード音楽院に留学。レオナード・ローズ、ハーヴィー・シャピロ、パブロ・カザルスに学ぶ。ヤング・コンサート・アーティスト・オーディションをはじめとし、カサド、チャイコフスキーなどの国際コンクールに上位入賞。沖繩ムーン・ビーチ・ミュージックキャンプ&フェスティバルのディレクター、倉敷市文化振興財団音楽プロデューサーなどを務める。現在、桐朋学園大学特任教授、大阪音楽大学客員教授。

ジャパン・ストリング・クワルテット コンサート

“講師”が奏でる
新旧ウィーン楽派

2016年

3月18日(金)

14:00 開演

入場料/指定席

一般 4,000円(友の会 3,600円) 学生券 1,000円 (限定数、当ホールのみ取扱)

曲目/ モーツァルト:弦楽四重奏曲 第14番 ト長調 K 387

ヴェーベルン:5つの楽章 作品5

ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第15番 イ短調 作品132

会場/あいおいニッセイ同和損保 **ザ・フェニックスホール**

ザ・フェニックスホールチケットセンター TEL:06-6363-7999 (土日祝を除く平日10:00~17:00)

MS&AD

あいおいニッセイ同和損保

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。